



メタルドウ  
専務取締役  
山頼 敏彦氏

ニッケルの2010年度  
下半期のロンドン金属取引  
所(LME)相場は、2万  
1000―2万4000ポ  
ンドで推移すると予想する。

現在のニッケル相場は、  
投機資金が流入して上昇し  
ている。10―11月は一進一  
退しながらも、このまま2  
万4000ポを上値に推移  
するだろう。ただし年末ご  
ろに、ファンド筋から手仕  
舞い売りを仕掛けられる  
と、2000―3000ポ  
の下げが想定される。年明  
けの地合いも弱いだろう。

## 年末下落も2万1000―2万4000ドル

### ニッケル

世界需給は均衡状態。中  
国は金融引き締めで成長に  
歯止めがかかり、今の価格  
圏ではニッケル銑鉄の使用  
率も落ちないので、ステン  
レス需要に大きな伸びは期  
待できない。供給面ではサ  
ドベリー―鉱山のスト終結  
で、生産が安定に向かう。  
LME在庫の減少も12万ポ  
ンドで止まりつつある。目先  
この均衡バランスが大きく  
変わることはないだろう。

国内大手ミルの稼働率は  
8―9割の高水準が予想さ  
れ、ニッケル系スクラップ  
は発生薄で、かなりタイト  
になりそうだ。